

## 深仙滝頂堂の修復資材運搬作業

◇ 実施日 平成26年08月31日(日) 濃霧一時晴間後曇

◇ 参加者 豊嶋 寛、沖崎吉信、川島 功、山口泰宏、

松本吉殖、生熊敏男、生熊千満子、高階美根子 計8名

大峯山ボランティア「峰の友」代表・浅井證善師(高野山・龍象寺住職)は、深仙滝頂堂内に冬アイゼン着用で入る登山者により床が痛んでおり且つ床面が南側に傾いている事から修復の必要性を痛感され、昨秋玉岡前代表を通じて三井寺・福家執事長の了解を得て修復される事になった。

先般、浅井師から9月上旬に修復する資材(ジャッキ・厚板等約30kg)をトイレ内に置いたので、深仙滝頂堂に荷上げして欲しいと支援要請があり、少しでも役立てればと快く引き受けた。

土曜日を予定していたが、日曜日の方が天候回復との予報で変更したが、かえって悪い予報に変わり沖崎宅に集合すると雨だ。

修復が9月3〜4日に実施される事から延期は出来ない。

秋雨前線は、太平洋南岸に停滞のため、北上につれ有難いことに雨も止み曇天になる、

十津川・道の駅で休憩後、香芝市から初参加の山口さん(前奈良森林管理事務所所長・現新宮森林事務所勤務)と奥吉野発電所駐車場で合流し川島車に乗換え。

太尾(峠)登山口に付くと乗用車5台、単車4台が駐車。早速、トイレ内に保管されていた資材を持出し、手分けして荷作りする。

山は霧(ガス)がかかり視界が殆んどないが、曇天で雨具の着用不要である。

山口さん先頭で歩いて貰ったら速く、皆遅れがちになる。

男女二人連れと後先になりながら不動谷登山口分岐で小休止。

山口さんビスケット、沖崎さんハウスミカン差入れを賞味する。

その後で豊嶋、生熊さんもミカンの差入れがある。



出発前の記念撮影

不動谷登山口分岐

古田尾根P手前にて

登山道には、所々小径木の倒木があり、帰り処理する事にする。登るにつれ更に濃霧になり視界が悪い。しかし、ぬかるみも少なく道端の笹・草が濡れていなく、昨日から雨が降ってない様だ。

眺望がないため、歩いている地点が判りづらく、小休止し一登りすると古田尾根ピークだ。

千丈平の標識を過ぎ、ほんみち経のテントサイトがあるはずだが濃霧で確認出来ず「かくし水」の水場に着く。

巻き道の山径は、濃霧で木に巻いた目印テープが判りづらい。

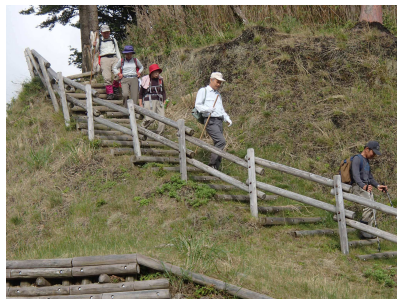
豊嶋さんはもう少し下との事で下り、巻き道は下だ！の声に、姫笹急斜面を下り全員巻き道に下りる。

この頃から小雨になり、濡れた姫笹でズボン・靴が濡れてくる。姫笹の茂った所は、足場が見難く、濡れた巨石は滑るので慎重に下るが、時々バランスを崩し一苦勞を強いられる。

11時35分深仙灌頂堂に到着。小雨から濃霧になり気温13度との事。運搬資材を堂内に積み置く。

松本さんは、避難小屋の入口扉が風で開かない様ゴム紐になっているので不便であり、改善したいとの事から入口扉の寸法を計測される。

昼食だ。デザートに川島持参の梨、お湯持参の生熊さんが暑いコーヒー振舞って下さり、寒いので暖かい飲み物は有難い。



深仙灌頂堂で昼食

鋸で倒木処理

無事下山

深仙宿周辺は、来るたびに大木が無くなり、谷の崩壊が進んでいる。地球温暖化による異常気象の豪雨によって、近い将来一層深刻な崩壊が予想される。

昼食後、山口・松本・生熊千・高階さんは、釈迦ヶ岳山頂へ。

後の4名は、巻き道・登山道の通行の妨げになっている小径倒木を鋸で伐採しながら下山する班に分れた。

千丈平を下り古田尾根Pに登る頃から晴れ間が現れ、眺望が望まれる様になる。岩露出尾根で釈迦ヶ岳く深仙宿く大日岳く天狗山く奥守岳の稜線が眼前に広がる眺望を堪能する。しかし尾根の後ろから低い雲が尾根を乗り越え、次第に稜線が見えなくなる。

不動谷登山口分岐で釈迦ヶ岳登頂組を待つ約束だ。生熊さんに待機して頂き、倒木処理に先に下り、計10本強の倒木を処理。

全員元気に15時15分に登山口に戻る。今日は昼から降水確率が高く、雨を覚悟していたが晴れ間があり眺望も望め、お陰で疲れも少しは吹っ飛んだ。

奥吉野発電所駐車場で山口さんから冷珈の差入れがあり、実に美味しい、感謝！感謝！だ。

山口さんは、奥様実家の尾鷲に帰られる事から。沖崎、川島、山口車で、十津川道の駅でトイレ休憩後、18時過ぎに帰新解散。

#### 行動タイム

新宮 6:25→7:30 十津川・道の駅 7:40→奥吉野発電所 8:20→  
8:45 太尾(峠)登山口 9:00→9:35 不動谷登山口分岐 9:45→  
10:30 古田尾根P→10:55 千丈平・かくし水 11:05→11:35 深仙  
灌頂堂 12:20→13:00 千丈平・巻き道分岐 13:10→13:45 古田尾  
根P→14:30 不動谷登山口分岐→15:15 峠登山口 15:30→15:55  
奥吉野発電所→16:50 十津川・道の駅 17:05→18:05 新宮。

#### ・釈迦ヶ岳登頂班(山口、松本、生熊千、高階)

深仙灌頂堂 12:15→13:05 釈迦ヶ岳山頂 13:35→15:15 登山口。

山頂では、晴れ間が広がり眺望を堪能したそうだ。

(記・川島)